

キネマティックモデル Ver.1

Kinematic Wave法 等価粗度法 雨水流法 特性曲線法

for Windows



用

キネマティックモデルの総合化計算

特

- ・有効雨量Reの算定方法は9種類が可能。
- ・流入出ポイントで任意のハイドロ(+:流入・-:流出)指定が可能。
- ・観測ポイントで実績ハイドロ・HQ曲線・横断面形状・危険水位・ 警戒水位等の表示が可能
- ・ダムの設定が可能
- ・河道の通水面積Aと流量Qから河道の定数K,Pの解析が可能。

仕 様

応基準

·河川砂防技術基準 H26年4月 国土交通省

- 参考書
- ·建設省河川砂防技術基準 H9年版·S61年版 国土交通省
- ・中小河川計画の手引き(案)1999年版 財)国土技術研究センター
- ・水文・水資源ハンドブック 2003年版 水文・水資源学会 ・土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 計画「排水」H18年3月
- 社団法人 農業土木学会 · 水理公式集·水理公式集例題集 H11年版, S60年版 土木学会
- ・水理公式集 例題プログラム集 H13年版 土木学会
- ・実用河川計画 千田稔 著 理工図書
- ·応用水文統計学 岩井·石黒共著 1970年版 森北出版

流域の河道

定数入力法

K、P入力 · G, M入力

・簡略式(n:粗度係数, i:勾配, b:川幅)でK, Pを推定

有効雨量Reの 取り扱い ・有効雨量Reを入力(観測雨量R=有効雨量Re) ・観測雨量Rを入力して有効雨量Reを算定

雨量データの適用 流域の左岸・右岸にそれぞれ別のデータ適用も可能。

有効雨量Reの

1. 累加雨量・損失雨量曲線法

算 定 方 法

- 2.2段階モデル法(f1, fsa, Rsa)
- 3.3段階モデル法(f1, f2, fsa, Rfsa, Rsa)
- 4. 一定比損失法(一律の流出係数f)
- 5.経過時間ごとの流出係数f(t)法
- 6. 一定量損失法(総雨量と流去率:海面干拓S41)
- 7. 上記4と6の総流出係数を比較して大なる方を使用
- 8. 雨水保留曲線法(土地改良·排水H18)
- 9. Hortonの方法

システム運用

LAN対応 USBプロテクトキー採用

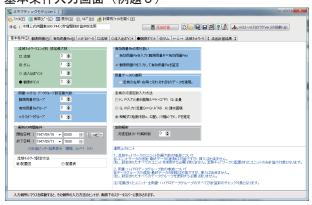
納入内容

・プログラムインストール DVD-ROM ・プロテクトキー

適応機種及びOS

	Windows7,8,10
ハードウェア	1366×768dpi以上のグラフィック機能 DVDドライブ (インストール時)
	DVDドライブ (インストール時)
	※web上からのインストールも可能(推奨)
	メモリ 2G以上
	推奨HD空き容量 200MG以上

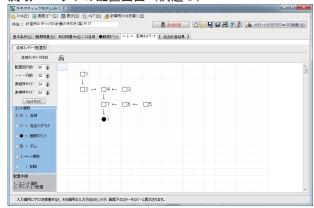
•基本条件入力画面(例題5)



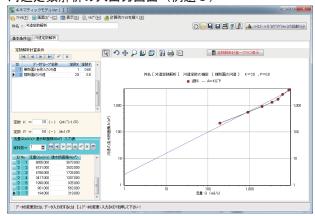
有効雨量の算定条件入力画面(例題1)



流域ユニットの配置画面(例題3)

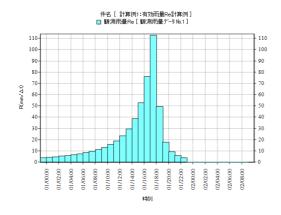


河道定数解析の入出力画面(例題6)



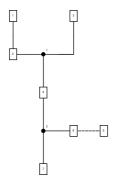
水理計算ソフト「奔流」キネマティックモデルVer.1 出力例

・観測雨量グラフ(例題1)

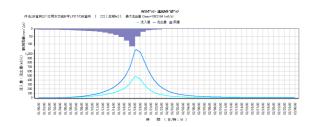


・流域ネットワーク配置図

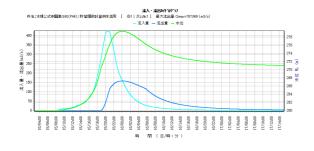
流域ネットワーク [計算例3:中小河川計画の手引き(案)P177]
▽:流域 , □:河道 , ◇:流入出ポイント , ●:観測ポイント , ⊚:ダム



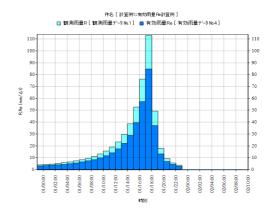
・ハイエトグ ラフ, 流出ハイト ログ ラフ計算結果 (例題2)



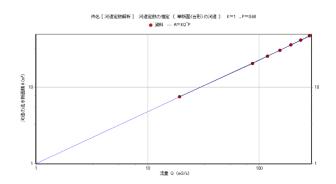
・ダム、流入、流出ハイドログラフ(例題5)



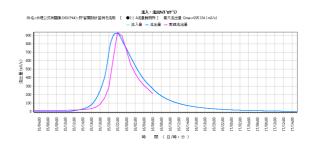
・有効雨量算定結果グラフ(例題1)



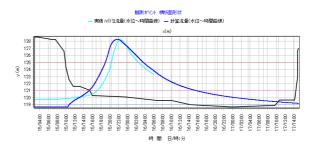
•河道定数解析(例題6)



・観測ポイントでの流入,流出ハイドログラフ (例題5)



・観測ポイント 水位~河川横断面形状 (例題 5)



お問い合わせは

水理計算ソフト 開発・販売元

ハイドロリック・エンジニアリング・カンパニー

Yama Soft Hanning ヤマソフトプランニング有限会社 〒819-0055 福岡市西区生の松原4丁目23-12 202号

T819-0000 福岡市西医生の松原41百23-12 202号 TEL 0120-38-0420 FAX 0120-38-0425 【Homepage】http://www.yamasoft.co.jp 【e-mail】torrent@yamasoft.co.jp